

## 第五章 鑛產物ノ市況及市價

### 鑛產物ノ市況

大正十四年中ニ於ケル主要鑛產物（石炭、銅、石油）ニ就キ之カ市況ノ概要ヲ記スレハ左ノ如シ

#### 一、石 炭

數年來不況打續ケル石炭市場ハ本年ニ入りテモ依然頽勢ヲ挽回スルニ至ラサリシノミナラス一般經濟界極度ノ不振ニ伴ヒ不況ハ益深刻ヲ加ヘ偶支那動亂ノ影響ニ依リ内地炭ノ脅威タル撫順炭開鑛炭等ノ輸入減少竝支那方面ニ對スル輸出ノ増進等ニ依リ石炭ノ貿易關係カ極メテ順調ナルモノアリシニ拘ハラス諸工業ノ衰頽海運界ノ不振等ノ爲需要ハ依然トシテ振ハス而モ當業者ハ生産費節減ノ爲努メテ大量生産ノ操業方針ヲ採リタルヲ以テ產額ハ前年ニ比シ一層増加シ其結果需給關係ハ益均衡ヲ失ヒ（年末時炭ハ二百二十萬餘屯ニシテ前年ノ百五十萬屯ニ比スレハ更ニ六十五萬屯ノ増加ナリ）炭價ハ前年ニ比シ更ニ一段ノ低落ヲ告ケ殊ニ金融ノ逼迫依然タルモノアルカ爲投資ヲ爲スモノ前年以上ニ多ク一層炭價ノ崩落ヲ助成シ例年多少ノ強調ヲ呈スル秋季需要期ニ於テモ些ノ反撥ナク只管軟調下押ヲ迎リ著シキ不振ノ裡ニ一年ヲ經過セリ

#### 二、銅

前年末ヨリ漸次昂進擡頭ヲ示シ大正十四年々初ニ於テハ尙十五仙見當（紐育市場電）ヲ持續セル米銅ノ市價ハ其後對歐輸出商談ノ一巡ヲ見タルト一方英米兩國ニ於ケル金利ノ引上及米國ニ於ケル銅輸入稅設定ノ提案延期等ニ累セラレ漸次低落歩調ニ轉シ八月頃再ヒ一五仙見當ニ昂騰セルコトアルモ又一三仙臺ニ立戻リ爾來一進一退一三仙三〇〇乃至一三仙八七七ヲ往返シツ、越年セシガ之ヲ概觀セハ騰落ノ值開大ナラス大體ニ於テ堅實ナル商狀ヲ持續シ其年平均（一四、〇四二）ハ前年（一

三〇二四(ニ比シ)一〇一八(七分八厘)ノ騰貴ヲ見タリ

此ノ如ク米銅ノ市況ハ大正十四年ニ於テハ多少ノ起伏消長アリシトハ云ヘ漸次好化スルニ至リタル所以ノモノハ當業者カ  
戰後ノ供給過剩ニ鑑ミ極力生産制限ヲ行ヒタルト一方ニ於テハ歐洲財界ノ好變ニ伴ヒ對歐輸出カ増進シ加フルニ近來銅加  
工業並電氣事業ノ著シキ勃興ニ伴ヒ内地消費又旺盛ナリシ爲銅價伸擡ノ原因タル滯銅カ殆ト一掃セラレタルニ起因スルモ  
ノナリ即チ大正十四年十月ノ滯銅ハ七萬三千噸ニ過キスシテ之ヲ前年同期ノ十三萬七千噸ニ對比セハ實ニ六萬四千噸ノ激  
減ナリト傳ヘラル亦以テ米國銅界好變ノ狀勢一斑ヲ推知シ得ヘキナリ、而シテ常態ニ於テハ當然米銅ト同一歩調ヲ辿ルヘ  
カリシ本邦銅價ハ對外爲替關係ノ不安定ナル特殊材料ノ潜在スルアリテ米銅市價ノ一高一低ハ其儘之ニ反映セサリシト雖  
モ大體ニ於テ同一推移ヲ見、大阪市場平均相場(電氣銅百斤)ハ前年(四九・八〇二)ニ比シ二・〇七六(四分二厘)ノ騰貴ヲ  
示シタリ

三、石 油

大正十四年ニ於ケル石油市場ハ極メテ不振ノ裡ニ一年ヲ經過シ市價ハ前年ニ比シ原油製油共一割乃至三割見當ノ低落ヲ見  
タリ、而シテ之カ原因ハ石油ノ世界ノ中心市場タル米國ニ於テ各地トモ一般ニ増産ヲ見殊ニ本邦ト最モ密接ノ關係ニ在ル  
加州地方ニ於テ著シキ増産ヲ見タルト且同國新石油會社カ本邦ニ對シ販路開拓擴張ノ爲盛シニ安値賣込ヲ開始シタル等ニ  
依リ輸入著シク増加シ加フルニ内地產油又前年ニ比シ稍増加セル等供給夥シク増加セルニ拘ハラス財界不振ノ爲需要之ニ  
伴ハス玆ニ供給過剩ニ陥リタルニ因ルモノニシテ市況ハ年初ヨリ漸次軟調ヲ呈シ市價亦漸落ヲ告クルニ至リ殊ニ當業者ハ  
輸入牽制策トシテ人爲の値下ヲ爲シタル爲一層市價ノ低落ヲ誘致シ遂ニ前記ノ如キ崩落ヲ見ルニ至レリ。

鐵產物ノ市價

一、銀

月	次	大阪市場 (一貫)		倫敦市場 (一オンス)		紐育市場 (一オンス)	
		大正十四年	大正十三年	大正十四年	大正十三年	大正十四年	大正十三年
一	月	二五・八四	一六四・四七	三三・一九七	三三・五四九	六八・四四七	六八・四四七
二	月	二二・二〇	一六四・七一	三三・二四五	三三・五四五	六八・四七二	六八・四七二
三	月	二〇・四三	一六八・四六	三三・九三五	三三・四八三	六八・八〇八	六八・八〇八
四	月	一九・〇三	一八・五三	三三・三七三	三三・〇六五	六八・八九九	六八・八九九
五	月	一九・二七	一九・八二	三三・二七六	三三・八七〇	六八・五八〇	六八・五八〇
六	月	二〇・五三	一九・九三	三三・八六三	三三・七五八	六八・一〇六	六八・一〇六
七	月	二〇・〇三	一九・七一	三三・九五四	三三・五〇九	六八・四四三	六八・四四三
八	月	二〇・三三	二〇・二七	三三・二六八	三三・二二三	六八・四四三	六八・四四三
九	月	二二・一八	二〇・五五	三三・九八三	三三・八三三	七二・一〇六	六八・三五〇
十	月	二二・五〇	二二・八八	三三・九七三	三三・八三七	七二・〇三三	六八・二九七
十一	月	一九・七三	二二・八六	三三・二五五	三三・七五五	六八・八八九	六八・八八九
十二	月	一九・〇三	二二・五九	三三・八三五	三三・六三〇	六八・八八九	六八・八八九
平均	均	二〇・四三	一九・九三	三三・〇八八	三三・九六九	六八・〇六五	六八・七七一

二、銅

月	次	大阪市場 (電氣銅)		倫敦市場 (標準銅)		紐育市場 (電氣銅)	
		大正十四年	大正十三年	大正十四年	大正十三年	大正十四年	大正十三年
一	月	五六・五〇	四六・三四	六六・〇六五	六・二七三	一四・七〇九	一一・四〇一